

【香川県】地域情報化アドバイザー活用事例報告

アドバイザー：下山 紗代子 氏（一般社団法人リンクデータ代表理事／デジタル庁データスペシャリスト）
ご専門分野：オープンデータ

背景	課題	成果目標
	<ul style="list-style-type: none">・オープンデータ「量」の拡大と「質」の向上・データを利活用できる組織への「変革」を見据えた理解と実践	<p>県及び市町職員がオープンデータの取組み意義やデータ利活用の重要性、これからの自治体が向かうべき方向（官民連携による課題解決等）について理解し、積極的に取組みを進められるマインドの醸成 →講演実施により支援いただく</p>

オープンデータ
「出せ」と言われるので出すもの？

支援内容

【派遣1日目】令和4年8月26日
講演に向けた事前打合せ（オンライン）
☞効果的な案内文や開催方法についても助言あり
【派遣2日目】令和4年9月16日
講演「DXにつながるデータ利活用」実施（現地派遣）
現地とオンラインのハイブリッド開催
講演後ディスカッション（今後のデータ利活用について助言）



字幕表示についても
反響が大きかった

成果等

- ・遠方の市町も含め多数の職員（県職員38名、市町職員22名、合計60名）に受講機会を提供
- ・講演はアーカイブし継続的に研修資料として活用
- ・**オープンデータ公開件数の増加（令和4年度新規公開実績：101データセット・1,415ファイル）**
- ・**機械判読しやすい形式での公開・自治体標準データセットに取り組む市町も**
- ・データマネジメントや国・他自治体の動きなど幅広くご紹介いただく

【今後の課題】
課題は山積（業務BPR・デジタル化、人材育成、データ取扱いルール整備等）→山頂に向けて、一歩ずつ

県・若手職員による新しい働き方の提言に
「オープンデータの推進」が盛り込まれた